

平成29年度「学力・学習状況」検証事業研究状況報告書（概要）

「つなげる」学び

～「教えて考えさせる授業」における『つなげる』を意識した研究を通して～

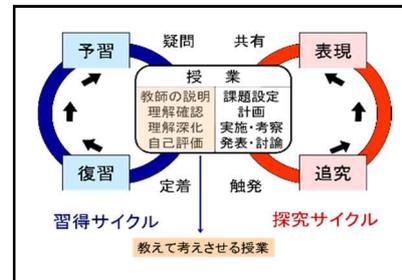
学力向上のための取組

① 全国学力・学習状況調査の分析

- 「学力調査分析研修」…初めに講師からデータの見方を教わった後、ジグソー法で本校の（全国との比較をするために）前年度のデータを分析。最後にデータから見た本校の実態や育てたい子ども像についてグループごとに協議
- 「学力調査丸つけ隊」…加配教員・学習サポーターや担任外の教員が、今年度の全国学力・学習状況調査終了後すぐに採点し、結果をまとめ全職員で共有

② 全教職員での「教えて考えさせる授業」の取組

- 「先進校視察」…品川区立第二延山小学校の校内研究会参観後、協議会にも参加
- 「校内勉強会」…校内でワークショップ研修開催
実践校の実際の授業をビデオにより全員で視聴
- 「書籍配付」…書籍を研修費で購入し、全学年配付
- 「授業展開」…「教えて考えさせる授業」を全教員授業展開



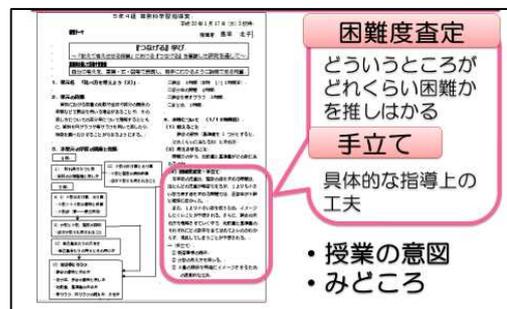
「授業からの学校改革」
東京大学 市川伸一教授

③ 環境整備

- 「授業参観掲示板」…積極的に授業公開・参観し合うために、授業案内掲示板を作成
- 「研修成果の掲示」…研修や研究授業の協議会で話し合った内容を、職員室の背面に掲示し、いろいろな考えを共有
- 「研修セット」…気軽にワークショップができるように、付箋やサインペンをセット

④ 指導案の見直し

- 指導案に記載する内容を吟味し、「困難度査定（子どものつまずき）」と「それに対する具体的な指導」を一番大切なポイントとして作成



⑤ 授業参観手順のシステム化

⑥ 模擬授業の定例化

- 教職員が児童役となることで、「言葉や指示が分かりづらい」などの指摘や「こうしたらよいのでは…」という改善案が参加者から提案